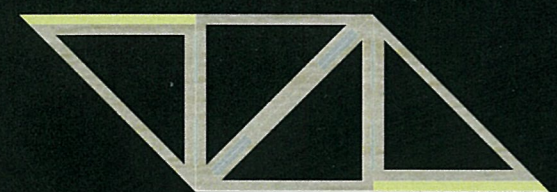


Detail Design

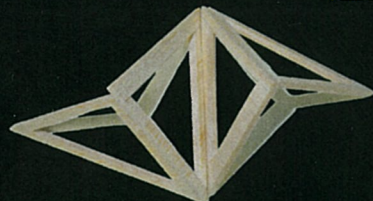


不要部分 蝶番を埋め込む。



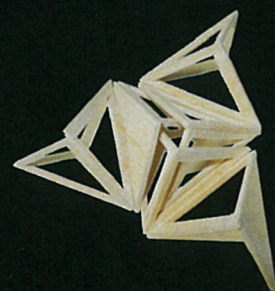
側面図

部材の不要部により、組み合わせたときに隙間をなくすることができる。



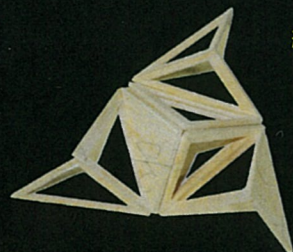
1ユニット

蝶つがいを付けることで三角形の部材が自由に動く。



重ねる

部材の重ねた部分にボルトをはめ固定する。



組み上がり

この一連の作業で多種多様な形態が可能になる。形態ができたら表面に和紙を貼る。

Reproduction Mechanism

日本の個性的な伝統工芸

↓
折り紙

↓
ユニットを組み合わせて空間構成

↓

→ ユニット形成の提案

↓

和紙とフレーム組み合わせることで、日本独自の建築になる

↓

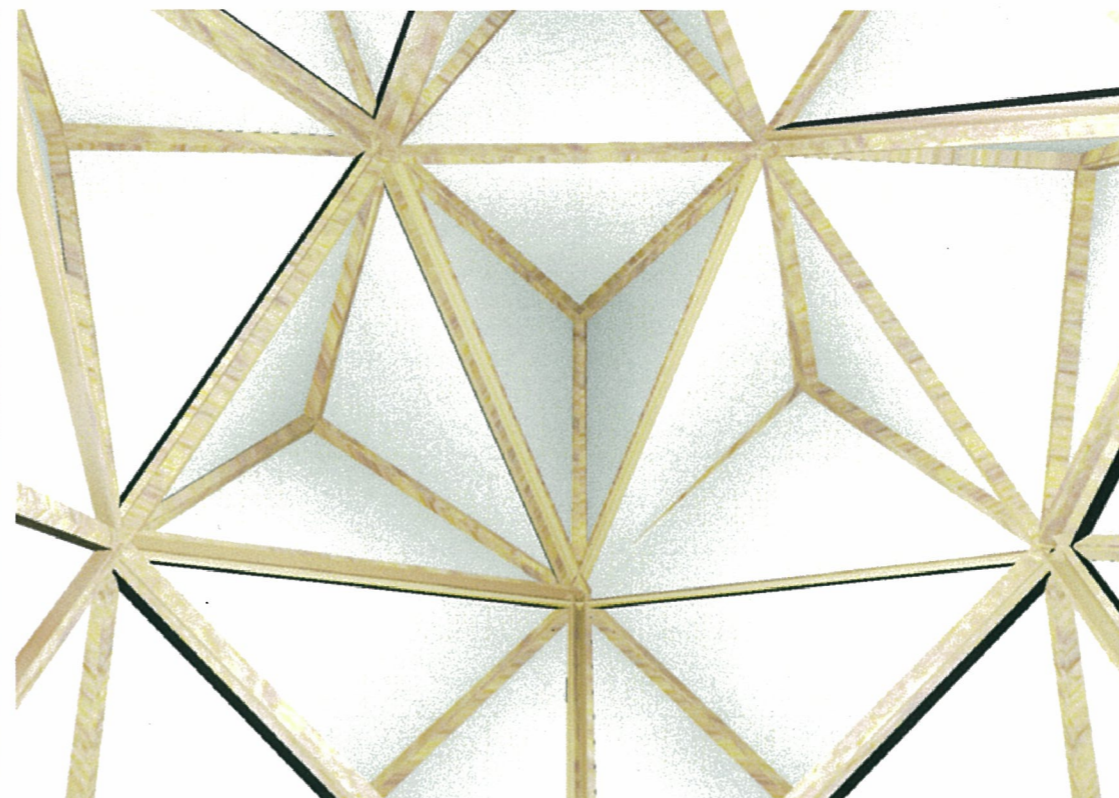
日本特有の空間と新しい建築における共存の起爆剤

↓

地域の活性化

↓

→ ユニットを取り外し再利用

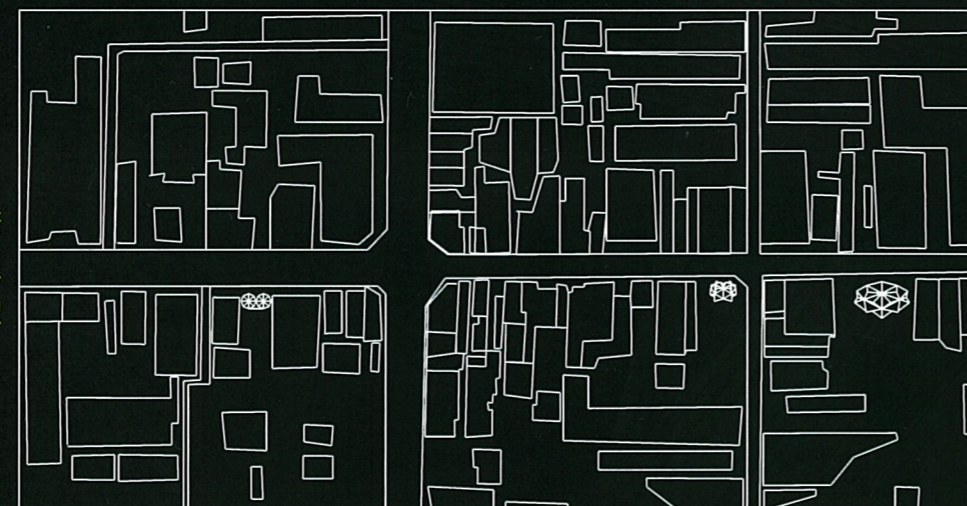


カフェテリアとして提案する通りで最も伝統と現在が複雑に絡み合っている場所。オープンカフェを配置することによって地域の住民や観光者などを融合により街がにぎわう。

左図は、建物の内部空間から上部を見上げたCG パースである。

ユニット数：48

奈良県奈良市三条通り



奈良駅

東大寺

20m

この地域は奈良駅と東大寺の中間にあたる伝統のある場所である。通りに今回提案した建築を配置する。配置場所は、伝統的建築が近くであり2区画に一つとする。建築の用途は、カフェ、コンビニ、お土産やとし、多くの人立ち寄り空間とする。地域の人や、観光客が集まり日本の伝統的であり、モダンな雰囲気を感じる空間とする。夜中は、建物から漏れる和紙の暖かい光が街を包む。

折り紙モデル



← コンビニとして提案する
二つの内部空間で、フードコートと売りに分けることができる。
ユニット数：28

お土産屋として提案する。 →
東大寺から近いので、観光客などが立ち寄りこと目的にしている。
ユニット数：28

